



感じて動く ～ Feel & Move ～

目指す児童像：かしこさいっぱい やさしさいっぱい たくましさいっぱい

三城小学校 学校だより

R6.7.3 第 6 号

校長 田中康隆

教育週間のご参観、ありがとうございました！

「4204万8千回」これは、1年間に皆さんの心臓が動くおよその回数です。心臓は、だいたい1分間に80回動くそうです。60分、24時間、365日で計算すると4204万8千回となるのです。

私は、今年60歳になるので、25億2288万回動いたことになります。すごい数です。自分の心臓に「お疲れ様。ありがとう。」と言ってやりたいですね。しかし、よく考えると、私自身が頑張っただけで動いているという意識はありません。もちろん、自由に止めることだってできません。皆さんもそうでしょ。そう考えると、私たちは生きているというよりは、何かに生かされていると言った方が正しいのかもしれない。

だからこそ、命は大切にしなければなりません。自分で命を絶つことは絶対にしてはいけません。命を危険にさらすような危ないこともしてはいけません。交通ルールを守るとか、危ない場所へ行かないとか、安全に気を付けて生活し命を大切に生きなければならないのです。

そして、せっかく授かった命そして身体ですから、人や世の中のために役立つことに使いたいものです。例えば、口は悪口を言ったり、汚い言葉を吐いて人を傷つけたり悲しくさせたりするのに使ってはいけません。同じ言葉なら、挨拶をしたり、お礼を言ったり、励ましたりして、人を勇気づけたり、元気づけたりしてみんなが気持ちよく過ごせるように使いたいものです。手や足も人をたたいたり蹴ったりして人を傷つけたり苦しめたりするのに使うのではなく、困っている人に手を貸したり、人を守ったりするのに使いたいものです。

私は、今、6年生と一緒に算数の学習をしています。この学級の人たちは、私がプリントを前の人に渡すと「ありがとうございます」言って受け取ります。私もなんだかいい気持ちになって「ありがとうと言ってくれてありがとう」という気持ちになります。また、毎朝、1年生の様子を見に教室に来ている6年生がいます。1年生も6年生もどちらもすごく素敵な笑顔です。こんな素敵な光景を朝から見せてもらって「ありがとう」と言いたい気持ちになります。毎朝、明るい挨拶で心を明るくしてくれる人たちがいます。学校に来たら植物に水を与えてくれている人もいます。トイレのスリッパをいつも並べている人がいます。三城小学校のあちこちに、自分の命を大切に生きて過ごしている人がいます。

今日、今、ここにこうして生きていることは、けっして当たり前のことではないのです。何気ないことにも幸せを感じ感謝して生きることや周りの人と幸せを分かち合って生きることが、命を大切に生きていくことなのです。三城小学校の皆さんが、毎日感謝の気持ちや幸せを感じて生きられるように、力を合わせていきましょう。



という話を6月25日（火）の全校集会でしました。集会後、トイレ前で会った1年生の女の子が私に言いました。「校長先生、私、トイレのスリッパを並べました。だって、今日校長先生が、6年生を見習っていいことをしようって言ってたもん…」、私の心は温かくなりました。「今日話してよかったって、思わせてくれてありがとう…」と伝えました。素敵な子供たちが、育っています。

整備された学校を目指して…

たくさんのご来校とご参観をありがとうございました。昨年度の学校評価アンケートで環境に関わる数値がやや落ちていたので、今年度は、特に「学校が古いからこそ、感謝の気持ちを込めてきれいに使おう」と、花壇や敷地まわりの垣根等の樹木剪定にも力を入れて、教育週間を迎えました。プール裏の樹木は、阿野前健全協会長様にもお手伝いいただき伐採しました。この場を借りて地域からのご協力にも感謝します。